

減災館が一般公開されました

平成26年3月に完成した名古屋大学減災館が、5月から一般公開されています。この建物は、名古屋大学減災連携研究センターに関する研究者が最先端の減災研究を行い、減災に向けた社会連携の拠点となっています。

減災館は、地下の免震装置と、屋上の振動実験室によって建物全体を振動実験に用いることができるなど、世界初の試みが取り入れられています。また、免震装置には弾性免震を採用し、十分な設計余裕を設けることで、巨大地震に対して地域で最も安全な建物となっています。

平時には、減災研究の拠点であるとともに、教育・人材育成の場としても活用されます。1階には長周期地震動を再現できる環境や、詳細な地形模型とハザードマップを融合した展示、防災・減災について学ぶパネル展示のほか、名古屋周辺を一望できる空中写真、耐震を学ぶための模型、キッズワークコーナーなどが整備されています。

また、地域防災を支える市民団体や一般市民に向けて、防災関連の講演を行う「防災アカデミー」や自然災害に対する一般市民の疑問について、各専門分野の教員がわかりやすく解説する「げんさいカフェ」が毎月開催されています。

名古屋大学減災館



2階は地震や災害に関する様々な資料や情報システムを閲覧できる「減災ライブラリー」となっています。

【開館日】火・土曜日（祝日を除く）の13～16時（入館は15時30分まで）

ただし、講義・イベントがある場合は休館することもあります。

【お問合せ・アクセス】名古屋大学減災連携研究センター

名古屋大学千種区不老町

名古屋大学駅2番出口徒歩3分

TEL 052-789-3468

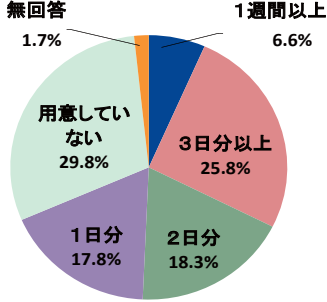
減災館周辺地図



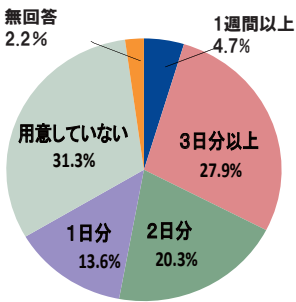
館内の様子



飲料水の備蓄



食料の備蓄



平成25年度 防災（地震）に関する意識調査より

備蓄品チェックリスト

Table with two columns: '品名' (Item Name) and '点検日チェック' (Check Date). Lists items like water tanks, blankets, food, and first aid kits.

防災減災備し（そなえる）ガイド 家庭編より

備蓄していますか？

平成25年5月、南海トラフ地震の対策を検討する国の有識者会議は「家庭用の備蓄は、1週間分以上の確保が必要」と発表しました。

なぜ、家庭用の備蓄を1週間分以上確保する必要があるのでしょうか。それは南海トラフ地震の範囲が広く、被害が大規模かつ広範囲になると想定されているからです。つまり、要救助者の数は大きく増える一方で、救助者の数が圧倒的に少ない状況となります。そして、救援がすぐに来ない可能性が高くなりますので、1週間分の備蓄が必要となります。しかし、平成25年度に愛知県が行った防災（地震）に関する意識調査の結果では、食料を1週間以上備蓄している方が約5%、同様に、飲料水が約6%と非常に低い結果でした。いざという時に備えて、日頃から備蓄するようにしましょう。

また、一般的に災害用備蓄品については、非常用持ち出し品と備蓄品に分類します。非常用持ち出し品とは、緊急避難するとき最初に持ち出すものであり、特に重要で必要度の高いものを指します。物品重量は、男性で15キログラム、女性で10キログラム程度が目安となります。貴重品・重要書類・救急薬品・常備薬・水・非常食など、すぐに持ち出せるように、枕元や玄関先に準備してください。

備蓄品とは、緊急避難により、安全を確保した後に避難生活で利用するものを指します。救援物資が届くまでの数日間を自活するためのものであり、非常食・水・生活用品などを指します。地震の揺れによる家具や家の倒壊などを想定して、物置にまとめるなどの準備をしておくとういでしょう。

平成26年度 防災・減災カレッジ（防災人材育成研修）を開催しています

【開催期間】

平成26年6月28日から平成27年1月31日まで

【主催】あいち防災協働社会推進協議会

【共催】愛知県、名古屋市、国立大学法人名古屋大学、愛知県商工会議所連合会、一般社団法人中部経済連合会、防災のための愛知県ボランティア連絡会、なごや災害ボランティア連絡会

【会場】名古屋大学（名古屋千種区不老町）、豊田市福祉センター（豊田市錦町一丁目一番地）

※平成26年度 防災・減災カレッジの申込は終了しています。

今年度の防災・減災カレッジの様子

防災基礎研修（名古屋大学豊田講堂）



防災行政コース：避難所運営ゲーム（HUG）の様子



シェイクアウト訓練を実施しました

平成26年9月1日、あいちシェイクアウト訓練を実施し、県内全域の約33万7千人に参加していただきました。本訓練は、正午の時報を合図に1分間地震から身を守る安全行動（①姿勢を低く②頭を守り③じっとする）をとるものであり、来年度以降も県内全域で実施する予定です。

あいちシェイクアウト訓練のホームページで参加表明をして、身を守る安全行動を習得しましょう。

身を守る安全行動 1-2-3



あいちシェイクアウト訓練ホームページ (http://www.aichi0901.jp/)